

第4期

# 株主通信

2012年2月1日～2013年1月31日

## 株主の皆様へ

当社は、2012年11月6日に東京証券取引所市場第一部へ市場変更いたしました。これもひとえに株主の皆様の温かいご支援、ご指導の賜物と心より御礼申し上げます。

さて当期は、デバッグ、ローカライズ、ネット看視、ユーザーサポートをグループ各社連携により「ワンストップ・フルサービス」として複合的に提供したほか、国内外企業の買収により海外拠点が8ヵ所となり、今後の海外事業の基盤を確立いたしました。アミューズメント機器やスマートフォン向けアプリ・ゲームのデバッグが好調に推移し、グループ会社増加による売上寄与等により、過去最高売上・利益を更新いたしました。また2013年1月9日をもって1株から2株の株式分割を実施いたしました。1株当たりの配当金は、普通配当27円に市場変更記念配当3円を加えた計30円とさせていただきます。

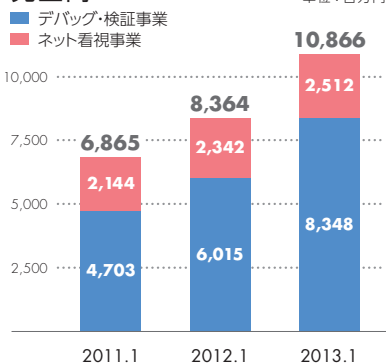
今後も国内外でグループ各社の連携を図り、複合的かつグローバルにサービスを提供することによって、企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

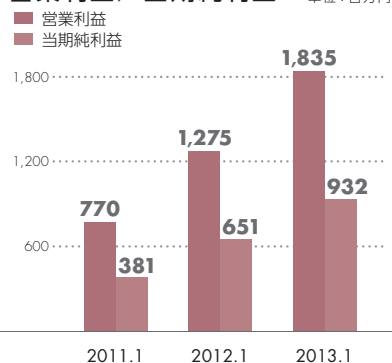
代表取締役社長 小西 直人

## 連結決算ハイライト

### 売上高



### 営業利益／当期純利益



### 総資産／純資産



# 社長インタビュー

中長期的観点から、グローバル化と  
グループシナジー向上への取り組みを加速させています。



代表取締役社長 小西 直人

## 企業理念

**Create Customer Value**  
人にしかできないこと、システムにできること、全部。

## ビジョン

- グローバルナンバーワン ～ 日本一から世界一へ
- 付加価値創造 ～ 人の力と独自システムを最大限に生かしたサービス提供

当社グループは、「Create Customer Value」という企業理念のもと、「高品質なシステム」を有効に使い、最終的には「人の力」でチェックすることによって顧客企業のビジネスを伸ばしていくことを使命として、様々なサポートサービスを提供しています。



まず、当社グループの事業内容についてご説明いただけますか。



当社グループの主要事業はデバッグ・検証事業とネット看視事業であり、両事業で売上高のほとんどを占めています。デバッグ・検証事業は、家庭用ゲーム機やソーシャルゲームなどのモバイルを中心とするゲームや、パチンコを中心とするアミューズメント機器などに搭載されているプログラムの最終的な動作検証です。当事業における当社の特長は、プログラムの中身を調べるというよりも、ユーザー目線でプログラムが正常に動作しているかどうかをチェックするところにあります。

一方のネット看視事業は、インターネット上のコンテンツや広告に不適切なものや公序良俗に反するものがないかどうかをチェックする看視と、ゲームサイトやEコマースサイトを中心とす

るユーザーサポートの受託がメインとなります。いじめ問題などで学校裏サイトが注目されていますが、当社では約7,500校の学校裏サイトをチェックしています。

両事業に共通するのは、人の手を使ってチェックするということです。もちろんシステムも利用しますが、人を介さないといけないことを安価にかつ高いレベルで行うというのが大きな特長です。



当期(2013年1月期)における事業環境と業績評価をお聞かせください。



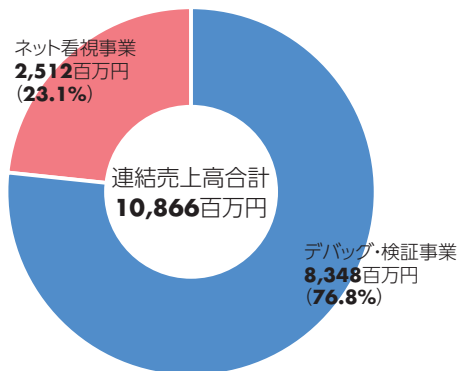
ゲーム業界は、スマートフォンの普及・拡大もあり、ソーシャルゲームが活況を呈しました。また、家庭用ゲームもネットにつながるようになり、ビジネスの主流が課金モ

デルへと変遷してきたこともあり、ゲーム自体が複雑かつ高度化してきました。アミューズメント機器も同様で、こうした流れはテスト項目数も増加することから当社にとっては追い風となりました。そのなかで、日々の業務では経験とノウハウを活かして、真摯かつ柔軟に業務を遂行しました。特にゲームはリリースの時期が大事ですから、タイトなスケジュールでも柔軟に対応することによって、お客様の要望に応えられたと思います。

一方のネット看視は、2011年に楽天が年間流通総額で1兆円を超えるなど、Eコマースが順調に伸長し、人々の生活に浸透してきています。しかし、ネットがどんどん便利になり生活への関わりを高める一方で、悪質なサイトやコンテンツ、表現などが増えてきているのも事実です。ネットというのはまだまだ道路交通法が整備されていないクルマ社会のようなもので、右側を走る自動車や赤信号で止まらないものがあるという状況ではないでしょうか。ネットの成長がネット看視事業へ波及したため、当事業も順調に推移しました。

その結果、当期の連結業績は、売上高108億66百万円(前年同期比29.9%増)、営業利益18億35百万円(同43.9%増)、経常利益18億85百万円(同47.2%増)、当期純利益9億32百万円

## 2013年1月期 セグメント別 連結売上高構成比



(同43.0%増)と、過去最高の売上、利益を計上することができました。



当期注力した取り組みをお聞かせください。



環境変化に合わせた投資を積極的に行いました。具体的には、モバイル関連が想像を超える速さで動いていることからモバイル専門のポータルウインドネットワークス株式会社を買収により子会社化するなど、モバイルデバッグの体制強化を図りました。また、ゲーム業界のグローバル化が急速に進展していることに合わせて、買収も含めて海外拠点を大幅に増やしました。現在は北米、ヨーロッパ、アジアで計5カ国・8拠点体制となっています。

また、ソーシャルゲームの広がりにより、最近ではデバッグ・検証とネット看視、特にユーザーサポートをセットにした業務ニーズが高まっています。グループシナジーをこれまで以上に発揮し、これらのニーズに的確に対応するため、2012年2月にグループの営業および管理部門を東京都新宿区の1カ所に集約しました。これにより営業面でのシナジー向上のほか、業務効率の改善も図られました。

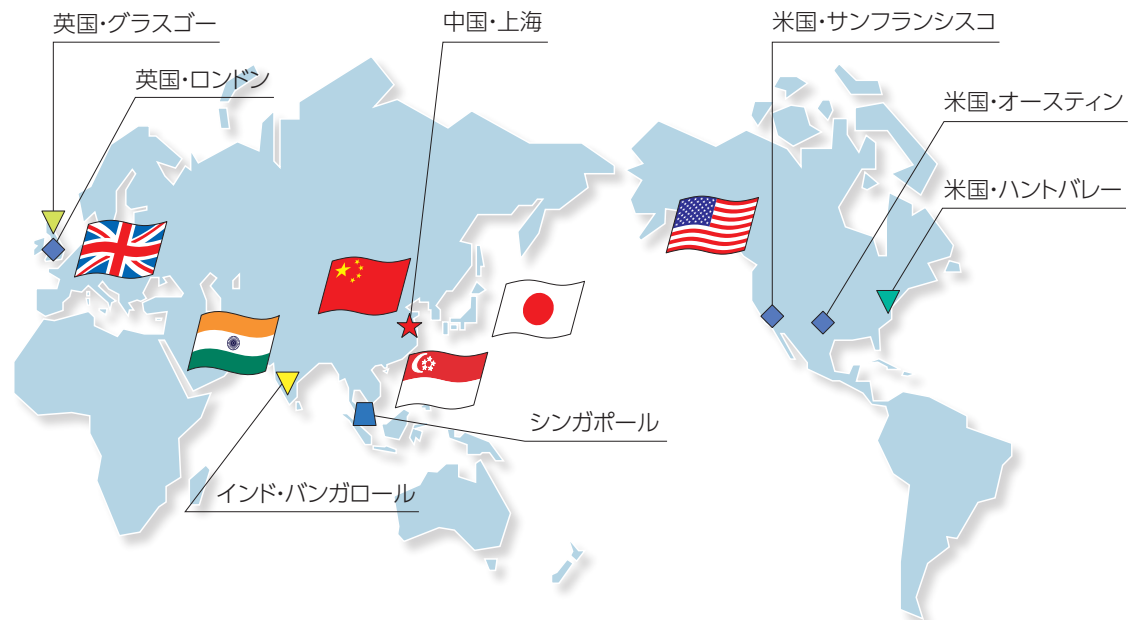


今後重点的に取り組んでいかれることをお聞かせください。



まずは、先ほど申し上げましたが、2つの事業のシナジーを十分に発揮し、当社の業務の価値をさらに高めていきます。ソーシャル化とマルチ環境が進展する事業環境下で、デバッグ・検証事業、ネット看視事業を複合的に提供し、「ワンストップ・フルサービス」でお客様企業の成長と発展に寄与していきます。

もうひとつは、当期に大きな種をまいた海外事業について、成長軌道に乗せるための取り組みを進めていきます。世界のゲーム市場において、日本のマーケットは20%以下といわれています。残りの80%以上は海外にあるわけで、今後の成長はこれをど



れだけ獲得するにかかっています。当社は3年ほど前から自前でグローバル化に着手しており、海外事業を軌道に乗せるむずかしさはよくわかっています。特に組織づくりと開発体制、営業基盤の確立は大きな課題です。しかし、当期に行った海外投資では、人的・組織的基盤と営業基盤、顧客基盤がすでにある程度確立されているので、ゼロから出発するよりもはるかに低コストで、スピード感をもったグローバル事業が展開できます。円高の頂点の頃を買収することができたことも幸いでした。

現在国内のゲームメーカーも海外進出を積極化させており、当期の海外投資によって、当社も海外のゲームソフトメーカーをはじめ現地に進出している日本企業のニーズにも応えられる体制が整いつつあります。もっとも、1~2年で大きな成果が出せるとは思っていませんが、5年、10年かけて着実に成長させていきたいと考えています。



最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。



当社は2011年10月にマザーズ市場に上場し、2012年11月には東証一部市場に市場変更することができました。これもひとえに株主様をはじめとする関係者の皆様のご支援の賜物と感謝しております。

当社の基本的経営スタンスは、中長期的な成長です。当社はお客様を陰で支える地味な存在ですが、中長期的な成長の観点から目立たないところで着実に手を打っております。株主の皆様には、ぜひとも長いお付き合いをお願いいたします。株主様への還元としては、連結当期純利益に対して配当性向25%を基本としており、当期末配当におきましては、1株当たり30円(普通配当27円+市場変更記念配当3円)とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、当社の事業と取り組みにご理解をいただき、末長いご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングスグループのCSR活動

## バリアフリー

### ●バリアフリーロックバンド「サルサガムテープ」の活動支援

ポールトゥウィン株式会社は、ミュージシャンのかしわ哲(元NHK「おかあさんといっしょ」5代目うたのお兄さん)の呼びかけで結成された、知的障害者と健全者混成のバリアフリーロックバンド「サルサガムテープ」の活動を支援しています。知的障害があるメンバーは、バケツの口に粘着テープを張ったオリジナル太鼓(バンド名の由来)など打楽器を担当。テレビ出演や海外でのライブ活動などのほか、2011年夏には東日本大震災の被災地である東北復興を支援するライブ活動も行いました。



2010年にはパリでライブを行った

### ●バリアフリー映画祭への協賛とバリアフリー字幕制作の協力

グループ会社のPalabra株式会社が開講している「シネマテーク動画教室」では、今後の映像バリアフリー化時代を見据え、2012年夏にバリアフリー字幕制作者養成カリキュラムを新設しました。その一環で、当社が「バリアフリーさが映画祭2012」「びわこアメニティー・バリアフリー映画祭2013」に協賛し、Palabraが上映作品のバリアフリー字幕制作に協力。2013年3月公開の映画「だいじょうぶ3組」でも、視覚障害者用のバリアフリー音声ガイドを提供しました。

## 情報リテラシー

ピットクルー株式会社では中高生の企業訪問を受け入れています。子どもたちがインターネットに触れる機会が増える一方、知識不足のためサイバー犯罪に巻き込まれるケースも増加しています。同社では、インターネットの掲示板看視や学校裏サイトの調査・看視の経験に基づき、誹謗中傷やいじめなどに使われているインターネットの隠語実例を紹介するなど、インターネットを利用する上での基本的な情報モラルについて学ぶ機会を提供しています。



ピットクルーの社員から説明を聞く生徒たち

## 社会貢献

株式会社第一総合研究所は、東日本大震災の被災者の住宅確保のため、被災者と住宅提供支援者をつなぐマッチングサイト「震災ホームステイ」「夏休み子どもステイ」を開設し、被災者の方々への無償住宅支援を行いました。2011年9月11日までに約600名の入居実績がありました。

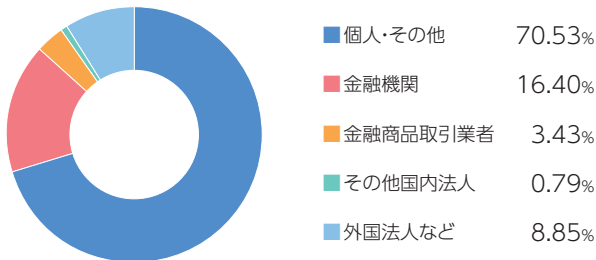
## 会社情報 (2013年1月31日現在)

会社名	ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社
本社	東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル11F
設立	2009年2月2日
代表者	代表取締役会長 橘 民義 代表取締役社長 小西 直人
資本金	1,228,802,600円
従業員数	1,639名(うち正社員数 562名/連結)

### 株式の情報

発行済株式の総数	9,473,600株
株主数	3,383名

### 所有者別株式分布状況



### 株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
基準日	定時株主総会 1月31日 期末配当 1月31日 中間配当 7月31日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1-2-1 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	当会社の公告方法は、電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない時は東京都において発行される日本経済新聞に掲載いたします。 ※電子公告アドレス <a href="http://www.poletowin-pitcrew-holdings.co.jp/ir/kouoku.html">http://www.poletowin-pitcrew-holdings.co.jp/ir/kouoku.html</a>



ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社  
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル11F  
<http://www.poletowin-pitcrew-holdings.co.jp/>

## グループ会社(連結子会社17社) (2013年4月1日現在)

### ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社 グループの統括管理(持株会社)

#### ポールトゥウィン株式会社 デバッグ・検証・ローカライズサービス

株式会社猿楽庁 チューニングサービス

Pole To Win America, Inc. (米国現地法人)  
デバッグ・ローカライズ・フォーカスグループサービス

ポールトゥウィンネットワークス株式会社  
モバイル、SNS コンテンツのデバッグサービス

Pole To Win Asia Pte. Ltd. (シンガポール現地法人)  
デバッグ・ローカライズ・フォーカスグループ・検証サービス

Pole To Win Europe Glasgow, Ltd. (英国現地法人)  
デバッグ・カスタマーサポートサービス

Pole To Win India Private Limited (インド現地法人)  
デバッグ・カスタマーサポートサービス

Pole To Win Europe Ltd. (英国現地法人)  
ローカライズ・デバッグサービス

上海申発軟件有限公司 (中国現地法人) 中国市場の調査業務

#### ピットクルー株式会社 ネット監視・ユーザーサポートサービス

ピットクルー・コアオプス株式会社 サーバー監視サービス

#### ポートサイド株式会社 ネット不正利用検知・システム開発サービス

#### ペイサー株式会社 子会社の経営管理(中間持株会社)

株式会社第一総合研究所 調査研究・コンサルティング

株式会社第一書林 出版事業

IMAid 株式会社 医療関連人材紹介・コンサルティング

Palabra 株式会社 放送・映画・映像関連事業



見やすく読みま  
ちがえにくいユ  
ニバーサルデザ  
インフォントを  
採用しています。